



平成 21 年 3 月期 第 1 四半期決算短信

平成 20 年 7 月 24 日

上場会社名 **日本精線株式会社**
 コード番号 5659
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成 20 年 8 月 12 日

上場取引所 東 大
 URL <http://www.n-seisen.co.jp/>
 (氏名) 近藤 龍夫
 (氏名) 若松 壮一 TEL (06) 6222-5432

(百万円未満切捨て)

1. 平成 21 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21 年 3 月期第 1 四半期	10,687	-	692	-	716	-	429	-
20 年 3 月期第 1 四半期	7,901	29.1	970	71.2	963	67.4	574	70.8

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
21 年 3 月期第 1 四半期	13.26	-
20 年 3 月期第 1 四半期	20.55	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21 年 3 月期第 1 四半期	36,563	18,889	51.7	582.90
20 年 3 月期	35,726	18,805	52.6	580.29

(参考) 自己資本 21 年 3 月期第 1 四半期 18,889 百万円 20 年 3 月期 18,805 百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1 株当たり配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	年間
20 年 3 月期	円 銭 -	円 銭 4.00	円 銭 -	円 銭 6.00	円 銭 10.00
21 年 3 月期	-	-	-	-	-
21 年 3 月期 (予想)	-	5.00	-	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成 21 年 3 月期の連結業績予想 (平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 21 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、第 2 四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期連結累計期間	22,700	-	1,370	-	1,370	-	790	-	24.38
通 期	45,400	27.6	2,740	1.1	2,740	2.1	1,580	3.1	48.75

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
会計基準等の改正に伴う変更 有
以外の変更 無
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | |
|--------------------|-------------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 21年3月期第1四半期 | 32,461,468株 |
| | 20年3月期 | 32,461,468株 |
| 期末自己株式数 | 21年3月期第1四半期 | 54,570株 |
| | 20年3月期 | 54,420株 |
| 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 21年3月期第1四半期 | 32,406,931株 |
| | 20年3月期第1四半期 | 27,973,506株 |

* 業績予想に関する事項

業績は概ね当初予想(平成20年4月28日公表)どおり推移しており、連結・個別とも業績予想の変更はありません。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

* その他特記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を發した世界経済の減速懸念、原油・素材価格のより一層の高騰、急激な円高の進行などにより、景気の不透明感が強まる状況となりました。

ステンレス鋼線業界におきましては、原材料価格の不安定な動向、住宅・建材需要の低迷などにより、大変厳しい環境下にありました。

このような状況の下、当社グループは顧客ニーズに直結した新製品の開発や高機能製品（極細線・ばね用材・ナスロンフィルターなど）の拡販に注力してまいりました。その結果、当第1四半期の連結売上高は、昨年10月の合併効果もあり、前年同四半期に比べ35.3%増収の106億87百万円となりました。

損益につきましては、主力のステンレス鋼線では材料価格の変動に対応した販売価格の改定や独自製品の販売戦略の再構築を推し進めるなど、収益性を重視した販売活動を展開してまいりましたが、棚卸資産の評価損が発生したことや、金属繊維部門では半導体業界向けの超精密ガスフィルター（ナスクリーン）が低調に推移したことなどにより、当第1四半期の連結経常利益は7億16百万円（前年同四半期比25.7%減）、連結純利益は4億29百万円（前年同四半期比25.3%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況

当第1四半期末の総資産は365億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億37百万円増加いたしました。流動資産は236億13百万円となり、7億82百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金の増加（5億24百万円）、受取手形及び売掛金の増加（3億50百万円）などです。固定資産は129億50百万円となり、54百万円増加いたしました。

当第1四半期末の負債合計は176億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億52百万円増加いたしました。流動負債は143億84百万円となり、6億41百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加（6億33百万円）などです。固定負債は32億88百万円となり、1億11百万円増加いたしました。

当第1四半期末の純資産の部は188億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ84百万円増加いたしました。

キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物は51億89百万円となり、前年同四半期に比べ13億87百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べて8億74百万円増加し9億25百万円の収入となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益が減少（2億47百万円）したものの、売上債権の増加額の減少（4億30百万円）、棚卸資産の増加額の減少（3億86百万円）、法人税等の支払額の減少（2億17百万円）などです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得などで1億88百万円の支出となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、利益配当金の支払などにより、1億55百万円の支出となり、前年同四半期に比べて66百万円支出が増加いたしました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績は概ね当初予想（平成20年4月28日公表）どおり推移しており、連結・個別とも業績予想の変更はありません。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

たな卸資産の評価方法

実地棚卸を省略し前事業年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出しています。

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

原則法で行っていますが、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定しています。

その他

経過勘定項目等に関しては、金額に重要性がなく、かつ、財務諸表利用者の判断を誤らせない範囲において合理的な算定方法による会計処理を行っています。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

たな卸資産の評価基準及び評価方法

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。これによる損益に与える影響はありません。

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これにより、連結子会社の土地再評価差額金から繰延税金負債を計算した結果、四半期連結貸借対照表の「評価・換算差額等」が57百万円減少し、「固定負債(その他)」が同額増加しております。なお、損益に与える影響はありません。

有形固定資産の耐用年数の変更〔追加情報〕

当社の機械装置については、従来、耐用年数を11年としておりましたが、法人税法の改正による法定耐用年数の変更に伴い、当第1四半期連結会計期間から14年に変更しております。これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ29百万円増加しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当四半期末 (平成21年3月期 第1四半期末)	(前期末) 平成20年3月末
	金 額	金 額
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	5,148	4,624
受取手形及び売掛金	11,283	10,932
たな卸資産	6,799	6,818
その他	381	455
〔流動資産合計〕	23,613	22,831
固定資産		
有形固定資産	9,478	9,471
建物及び構築物	3,331	3,360
機械装置及び運搬具	3,886	3,796
土地	1,876	1,906
その他	384	407
無形固定資産	76	71
投資その他の資産	3,395	3,353
〔固定資産合計〕	12,950	12,895
資産合計	36,563	35,726
(負債の部)		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,635	10,002
短期借入金	1,886	1,940
その他	1,862	1,800
〔流動負債合計〕	14,384	13,743
固定負債		
退職給付引当金	3,100	3,054
その他	188	123
〔固定負債合計〕	3,288	3,177
《負債合計》	17,673	16,920
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	5,446	5,446
利益剰余金	8,062	7,827
自己株式	22	22
〔株主資本合計〕	18,486	18,251
評価・換算差額等	403	554
《純資産合計》	18,889	18,805
負債、純資産合計	36,563	35,726

(2) 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当四半期 (平成21年3月期 第1四半期)
	金 額
売上高	10,687
売上原価	9,261
《売上総利益》	1,426
販売費及び一般管理費	733
《営業利益》	692
営業外収益	50
受取利息及び配当金	26
そ の 他	23
営業外費用	26
支払利息	11
そ の 他	15
《経常利益》	716
特別利益	-
特別損失	-
《税金等調整前四半期純利益》	716
税金費用	286
《四半期純利益》	429

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当四半期 (平成21年3月期 第1四半期)
	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	716
減価償却費	256
負債性引当金増減額	274
売上債権増加額	381
棚卸資産増加額	38
仕入債務増加額	627
その他	573
(小計)	1,479
法人税等支払額	574
その他	20
営業活動によるキャッシュ・フロー	925
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産取得支出	174
その他	14
投資活動によるキャッシュ・フロー	188
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金支払額	155
その他	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	155
現金及び現金同等物に係る換算差額	57
現金及び現金同等物増加額	524
現金及び現金同等物期首残高	4,664
現金及び現金同等物期末残高	5,189

* 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【参考】

前年同四半期(累計)連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	平成20年3月期 第1四半期(累計)
	金 額
売上高	7,901
売上原価	6,242
《売上総利益》	1,659
販売費及び一般管理費	688
《営業利益》	970
営業外収益	21
受取利息及び配当金	17
その他	4
営業外費用	28
支払利息	15
その他	13
《経常利益》	963
特別利益	-
特別損失	-
《税金等調整前四半期純利益》	963
税金費用	384
少数株主損益	4
《四半期純利益》	574

前年同四半期(累計)連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	平成20年3月期 第1四半期(累計)
	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	963
減価償却費	244
負債性引当金増減額	226
売上債権増加額	812
棚卸資産増加額	424
仕入債務増加額	619
そ の 他	479
(小計)	843
法人税等支払額	791
そ の 他	1
営業活動による キャッシュ・フロー	50
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産取得支出	162
そ の 他	0
投資活動による キャッシュ・フロー	162
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金支払額	87
そ の 他	1
財務活動による キャッシュ・フロー	88
現金及び現金同等物に係る換算差額	49
現金及び現金同等物増加額	150
現金及び現金同等物期首残高	3,951
現金及び現金同等物期末残高	3,801